

実務経験にある教員等による授業科目の一覧表

課程名	学科名	学年	コース	授業科目	授業時間数	実務経験がある教員による授業科目	シラバス	備考
商業実務専門課程	国際ビジネス本科 (2年課程)	1・2	国際英米コース	Oral Communication I・II	75	○	○	
				Cross Culture I	25	○	○	
				Cross Culture II	25	○	○	
				Practical English	25	○	○	
				Excel3級	45	○	○	
				Excel2級	45	○	○	
				PowerPoint初級	45	○	○	
				PowerPoint上級	45	○	○	
				Grammar I	15	○	○	
				Grammar II	15	○	○	
				Grammar III	15	○	○	
総時間数					375			

実務経験にある教員等による授業科目の一覧表

課程名	学科名	学年	コース	授業科目	授業時間数	実務経験がある教員による授業科目	シラバス	備考
商業実務専門課程	国際ビジネス本科 (3年課程)	1・2・3	国際英米コース	Oral Communication I・II	75	○	○	
				Cross Culture I	25	○	○	
				Cross Culture II	25	○	○	
				Practical English	25	○	○	
				Excel3級	45	○	○	
				Excel2級	45	○	○	
				PowerPoint初級	45	○	○	
				PowerPoint上級	45	○	○	
				Grammar I	15	○	○	
				Grammar II	15	○	○	
				Grammar III	15	○	○	
				企業実習	800	○	○	
				就職実務	37.5	○	○	
総時間数					1,213			

科目名	Oral Communication I・II		教員名	Dana Hanna	配当年次	1~2
実務教員	○	実務教員の紹介	Bachelors of Arts from Indiana University. 12 years teaching experience in the USA and in Japan. 3 years advertising experience in Japan.			

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

Students will study vocabulary and grammar with a focus on tenses popularly used on Eiken Pre-2 tests. The specific tenses and vocabulary will center around their daily lives as much as possible so that they can practice real world conversations through games, roleplaying, creative projects, etc.

2. 授業計画 (3時限 150分×授業回数 30回=総授業時数 75時間(4,500分))

1	Talking About Your Break	16	Speaking practice & pair work①
2	Infinitives and gerunds	17	Speaking practice & pair work②
3	Passive Voice	18	Speaking practice & pair work③
4	Zero Conditional	19	Speaking practice & pair work④
5	First Conditional	20	Speaking practice & pair work⑤
6	Review Weeks 2 - 6	21	Review Weeks 16 - 20
7	Past Continuous	22	Conversations & group work
8	Second Conditional	23	Conversations & group work
9	Third Conditional	24	Conversations & group work
10	Review Weeks 7 - 10	25	Conversations & group work
11	How to Write a Speech	26	Conversations & group work
12	Speech Research and Writing	27	Review Weeks 22 - 26
13	Speech Research and Writing	28	Speech research and practice
14	Speech Practice	29	Speech research and practice
15	Speech Presentation	30	Speech Presentation

3. 評価方法

Attendance is the most important for this class

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社

5. その他・特記事項

The teacher will prepare print outs.

科目名	Cross Culture I		教員名	河村 舞	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	観光業、海外留学、移住、勤務経験者			

1. 授業概要 (授業方法: 講義・グループワーク)

【授業目的】

- ・異文化について学び、様々な文化の価値観を知る
- ・自己の置かれた文化について考える
- ・異なる文化的背景を持つ人々と交流する際に、必要なことは何かを考える
- ・留学中起こりうる生活習慣の違いや、現地での多様性をイメージする

【到達目標】

- ・様々な国の文化を比較、研究し、理解を深める
- ・世界の中での日本に関する知識を持ち、自己の文化について詳しく語ることができる
- ・意見交換とロールプレイを通じて学んだ事を、留学生活に置き換えて考えることができる

2. 授業計画 (2時限 100分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500分)

1	異文化体験紹介①	100	海外旅行、海外留学のケース
2	異文化体験紹介②	100	国際舞台で起きる摩擦
3	表現の違い(意思伝達)	100	英語と日本語の表現の違い(Noの大切さ)
4	異文化間のマナー	100	挨拶、会話、チップカルチャー
5	文化の違いは歴史の違い①	100	映画や音楽を題材に世界の歴史を知る
6	文化の違いは歴史の違い②	100	映画や音楽を題材に世界の歴史を知る
7	多様性の時代	100	人種、LGBTQとは
8	国ごとの英語(アクセント)①	100	リスニング教材で国ごとに違う英語を知る
9	国ごとの英語(アクセント)②	100	リスニング教材で国ごとに違う英語を知る
10	日本と世界の食文化・祭り	100	日本と世界の料理と祭り
11	世界の治安、貨幣価値	100	海外で暮らす心構え、お金の価値観
12	日本、沖縄について語る	100	留学先で英語で日本、沖縄について話せる
13	留学先の知識を深める	100	留学先の人口、人種、首都などを知る
14	ディベート(討論)	100	自分の考えを筋立てて主張できるようになる
15	課題ORレポート	100	

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物によって評価

4. テキスト・参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
「映画での異文化体験 異文化コミュニケーション講座」	桜木俊行	SCREEN新書
「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」	久米昭元、長谷川典子	有斐閣選書
「Intercultural Communication for English Language Learners in Japan」	Troy McNachy、古家聡、櫻井千佳子	NANUN-DO

5. その他・特記事項

--

科目名	Cross Culture II		教員名	河村 舞	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	観光業、海外留学、移住、勤務経験者			

1. 授業概要 (授業方法:講義・グループワーク)

<p>【授業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化について学び、様々な文化の価値観を知る ・自己の置かれた文化について考える ・異なる文化的背景を持つ人々と交流する際に、必要なことは何かを考える ・留学中起こりうる生活習慣の違いや、現地での多様性をイメージする <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な国の文化を比較、研究し、理解を深める ・世界の中での日本に関する知識を持ち、自己の文化について詳しく語ることができる ・意見交換とロールプレイを通じて学んだ事を、留学生活に置き換えて考えることができる

2. 授業計画 (2時限 100分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500分)

1	ステレオタイプと無意識の偏見	100	偏見が生まれる仕組みとその影響
2	沖縄文化をどう伝えるか	100	沖縄と日本文化を区別し英語で説明
3	異文化誤解のケース分析①	100	英語圏での摩擦や誤解の例
4	異文化誤解のケース分析②	100	実際の留學生体験談をもとに議論
5	非言語表現とコンテクスト	100	表情、ジェスチャー、沈黙の意味など
6	英語圏の価値感(自由・平等)	100	自由・平等について事例とともに比較
7	「常識」の違いとユーモア	100	異文化におけるジョーク、暗黙のルール
8	礼儀・マナーの違い	100	食事、時間、行動の文化差
9	英語で異文化対応①	100	丁寧な表現、依頼
10	英語で異文化対応②	100	断り、意見交換
11	世界の経済格差	100	世界と日本の経済の違いについて
12	異文化適応とストレス管理	100	カルチャーショックとの向き合い方
13	異文化トラブルと対処法	100	トラブルの例と解決方法
14	祝日から知る留学先の歴史	100	留学先の祝日をもとに歴史を理解する
15	課題ORレポート	100	

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物によって評価

4. テキスト・参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
「映画での異文化体験 異文化コミュニケーション講座」	桜木俊行	SCREEN新書
「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」	久米昭元、長谷川典子	有斐閣選書
「Intercultural Communication for English Language Learners in Japan」	Troy McNachy、古家聡、櫻井千佳子	NANUN-DO

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Practical English		教員名	Dana Hanna	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Bachelors of Arts from Indiana University. 12 years teaching experience in the USA and in Japan. 3 years advertising experience in Japan.			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

The aim of this class is to improve listening skills through news articles. In addition to improving listening skills, the class is also expected to increase students' knowledge of world affairs and develop a global perspective by covering news from a wide range of fields.

2. 授業計画 (1時限 50 分 × 授業回数 15 回 = 総授業時数 750 分)

1	Listening1	リスニング演習 グループワーク
2	Listening2	リスニング演習 グループワーク
3	Listening3	リスニング演習 グループワーク
4	Listening4	リスニング演習 グループワーク
5	Listening5	リスニング演習 グループワーク
6	Listening6	リスニング演習 グループワーク
7	Listening7	リスニング演習 グループワーク
8	Listening8	リスニング演習 グループワーク
9	Listening9	リスニング演習 グループワーク
10	Listening10	リスニング演習 グループワーク
11	Listening11	リスニング演習 グループワーク
12	Listening12	リスニング演習 グループワーク
13	Listening13	リスニング演習 グループワーク
14	Listening14	リスニング演習 グループワーク
15	Listening15	リスニング演習 グループワーク

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
DIALOGUE 1800 英単語・熟語ダイアログ1800 CNN ニュース・リスニング 準1級、最短合格 リスニング問題 完全制覇		旺文社出版 朝日出版社 The Japan Times他

5. その他・特記事項

--

科目名	PC Excel 3級		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Excelの表計算（関数）・グラフ作成及び管理の実務経験があり、指導実績がある。			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft Excelを使用するための操作手順の習得を目的とし、主にExcelの基本操作、関数、グラフを学習していく。3級取得を目指す。ビジネス社会における通常の表計算処理を行うことができる。同時に、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する実践的な技能を有している。

2. 授業計画（1時限 50分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700分)）

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社
「Excel 表計算処理技能認定試験3級問題集」、サーティファイ	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

--

科目名	PC Excel 2級		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Excelの表計算（関数）・グラフ作成及び管理の実務経験があり、指導実績がある。			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft Excelを使用するための操作手順の習得を目的とし、主にExcelの基本操作、関数、グラフ、フィルター等を学習していく。2級取得を目指す。ビジネス社会における通常の表計算処理を行うことができる。同時に、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する実践的な技能を有している。

2. 授業計画（1時限 50分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700分)）

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社
「Excel 表計算処理技能認定試験2級問題集」、サーティファイ	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

--

科目名	PC Power Point 初級	教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	スライドの作成及びプレゼンテーションの実務経験があり、指導実績がある。		

1. 授業概要 (授業方法: 実務)

Microsoft PowerPointに関する基礎的な技能を有し、ビジネスシーンを想定した仕様に従った標準的なプレゼンテーションを作成することができる。

2. 授業計画 (1時限 50分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700分))

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
「PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験問題集」、サーティファイ	サーティファイ コミュニケーション能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

--

科目名	Grammar I		教員名	伊禮 亮	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

<p>・授業の狙い 中学・高校の英文法を一から復習することにより、文法知識の習得が、リーディング、ライティング、英会話においていかに大切になってくるのかを理解することが狙いである。</p> <p>・到達目標 Be動詞、一般動詞、肯定文と否定文、疑問文、完了形、仮定法、助動詞、形容詞、副詞、動名詞、分子、句と節などの文法用語に精通するとともに、その使い方をしっかりと理解した上で、口頭でも、ライティングでも、英文法の知識を駆使し、英語で自己紹介したり、週末の出来事などを英語で語る事ができるレベルまで持つていく。</p> <p>・授業構成 このクラスでは、 1) 講師主導で、英文法の基本を、英語構文を交えながら解説していく。 2) ある程度英文法が理解できたところで、自己紹介文などの文章を英語で実際に書いたり、週末をどのように過ごしたのか、英語で表現する練習をする。 3) 英検準2級、2級レベルのトピックを与え、文章のどこで、どのように文法が使われているのか、確認してもらう。</p> <p>・対象学生・英語レベル設定 このクラスを受講する学生は、英文法の知識が未だ曖昧で、英検準2級レベルの文章を理解するのが難しかったり、簡単な英語の文章が書けない学生を対象とする。</p>
--

2. 授業計画 (1時限 50 分 × 授業回数 15 回 = 総授業時数 750 分)

1	Grammar	文の種類
2	Grammar	動詞と文型
3	Grammar	動詞と時制
4	Grammar	助動詞
5	Grammar	受動態
6	Grammar	不定詞
7	Grammar	動名詞
8	Grammar	分詞
9	Grammar	前置詞
10	Grammar	関係詞
11	Grammar	接続詞
12	Grammar	比較 仮定法
13	Grammar	否定語
14	Grammar	まとめ①
15	Grammar	まとめ②

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
テキスト不使用		

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar II		教員名	伊禮 亮	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

<p>・授業の狙い 留学生活の出だして躓かないよう、しっかりと準備した上で、留学生活にある程度自信をもってスムーズに入っていくことがこの授業の最大の狙いである。</p> <p>・到達目標 英語圏の日常生活において自分の言いたいことを相手(ホストファミリー、友人、知人)に分かりやすく伝える能力は必須である。また、授業中でのグループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションでの質疑応答などで、自分の意見をしっかりと述べることも求められる。こうしたことに対応できるようにするため、文法書の中のあらゆる英語構文を声にだして読み込むことで、シンプルな表現で自分の伝えたいことを相手に伝えたり、相手に対して質問できるようにする。</p> <p>・授業構成 このクラスでは、キク英文法をクラス全員で徹底的に音読していく。その上で、 1) 文法書に用いられているあらゆる例文を、講師のよびかけに応じて、現在形から過去形、肯定文から疑問文、否定文へ、肯定文から受け身へ、現在形を完了形へなど、これまで習った文法の知識を駆使して文法書に用いられている例文をパラフレーズする形で、英語表現のアウトプットを徹底する。これと併せて、英語日記パーフェクト表現辞典を用いて、様々な英語表現をインプットし、アウトプットする練習を繰り返す。 ・対象学生・英語レベル設定 資格試験でいえば、準2級～2級レベルの学生を対象とする。</p>

2. 授業計画 (1時限 50分 × 授業回数 15回 = 総授業時数 750分)

1	Grammar1 演習	動詞
2	Grammar2 演習	時制
3	Grammar3 演習	助動詞
4	Grammar4 演習	名詞と冠詞
5	Grammar5 演習	形容詞
6	Grammar6 演習	代名詞
7	Grammar7 演習	副詞
8	Grammar8 演習	不定詞
9	Grammar9 演習	動名詞
10	Grammar10 演習	分詞
11	Grammar11 演習	受動態
12	Grammar12 演習	疑問詞 比較
13	Grammar13 演習	接続詞 仮定法
14	Grammar14 演習	関係詞
14	Grammar15 演習	まとめ

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
キク英文法 英語日記パーフェクト表現辞典		アルク Gakken

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar III		教員名	伊禮 亮	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

<p>・授業の狙い このクラスは、TOEICやTOEFLiBT資格試験取得を目的としている。TOEICの点数を上げるためには、Part5の問題を短時間で解き、正答率をいかに上げられるかが鍵になる。また、TOEFLiBTの点数を上げるためにも、アカデミックな文章を正しく読む訓練をする必要がある。こうしたことに対応するため、英文法の勉強を徹底するのが狙いである。</p> <p>・到達目標 TOEICでは550点、TOEFLiBTでは54以上を目標とする。</p> <p>・授業構成 1)いくつかのグループに分け、過去問や対策本の問題をグループ全員で解いてもらう。その後、グループの代表者に、なぜ他の選択肢は間違いで、残った答えが正答になるのか、口頭で説明してもらう。 2)リーディングの問題に関しては、英語の5文型を用いて、どの部分が重要な動詞で、どの部分が補語なのか、あるいは目的語のかなどを学生に説明してもらった後に、英文を日本語に訳してもらう。 3)TOEICの文法問題に関しては、動詞、名詞、形容詞、副詞の違いをしっかりと認識した上で、なぜその箇所には副詞が入るのか、形容詞ではだめなのか、なぜ動詞、名詞や代名詞が入るのか、文法の理屈を用いて説明してもらう形をとる。</p> <p>・対象学生・英語レベル設定 資格試験でいえば、TOEIC450点以上、英検2級レベルの学生を対象とする。</p>

2. 授業計画 (1時限 50分 × 授業回数 15回 = 総授業時数 750分)

1	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
2	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
3	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
4	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
5	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
6	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
7	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
8	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
9	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
10	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
11	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
12	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
13	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
14	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
15	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
スコアが上がる新TOEICテスト本番模試600問 ETS公認ガイドTOEFL iBT 他、		旺文社 Mc Graw Hill

5. その他・特記事項

--

科目名	Oral Communication I・II		教員名	Dana Hanna	配当年次	1~2
実務教員	○	実務教員の紹介	Bachelors of Arts from Indiana University. 12 years teaching experience in the USA and in Japan. 3 years advertising experience in Japan.			

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

Students will study vocabulary and grammar with a focus tenses popularly used on Eiken Pre-2 tests. The specific tenses and vocabulary will center around their daily lives as much as possible so that they can practice real world conversations through games, roleplaying, creative projects, etc.

2. 授業計画 (3時限 150分×授業回数 30回=総授業時数 75時間(4,500分))

1	Talking About Your Break	16	Speaking practice & pair work①
2	Infinitives and gerunds	17	Speaking practice & pair work②
3	Passive Voice	18	Speaking practice & pair work③
4	Zero Conditional	19	Speaking practice & pair work④
5	First Conditional	20	Speaking practice & pair work⑤
6	Review Weeks 2 - 6	21	Review Weeks 16 - 20
7	Past Continuous	22	Conversations & group work
8	Second Conditional	23	Conversations & group work
9	Third Conditional	24	Conversations & group work
10	Review Weeks 7 - 10	25	Conversations & group work
11	How to Write a Speech	26	Conversations & group work
12	Speech Research and Writing	27	Review Weeks 22 - 26
13	Speech Research and Writing	28	Speech research and practice
14	Speech Practice	29	Speech research and practice
15	Speech Presentation	30	Speech Presentation

3. 評価方法

Attendance is the most important for this class

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社

5. その他・特記事項

The teacher will prepare print outs.

科目名	Cross Culture I		教員名	河村 舞	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	観光業、海外留学、移住、勤務経験者			

1. 授業概要 (授業方法: 講義・グループワーク)

【授業目的】 ・異文化について学び、様々な文化の価値観を知る ・自己の置かれた文化について考える ・異なる文化的背景を持つ人々と交流する際に、必要なことは何かを考える ・留学中起こりうる生活習慣の違いや、現地での多様性をイメージする 【到達目標】 ・様々な国の文化を比較、研究し、理解を深める ・世界の中での日本に関する知識を持ち、自己の文化について詳しく語るができる ・意見交換とロールプレイを通じて学んだ事を、留学生活に置き換えて考えることができる
--

2. 授業計画 (2時限 100分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500分)

1	異文化体験紹介①	100	海外旅行、海外留学のケース
2	異文化体験紹介②	100	国際舞台で起きる摩擦
3	表現の違い (意思伝達)	100	英語と日本語の表現の違い (Noの大切さ)
4	異文化間のマナー	100	挨拶、会話、チップカルチャー
5	文化の違いは歴史の違い①	100	映画や音楽を題材に世界の歴史を知る
6	文化の違いは歴史の違い②	100	映画や音楽を題材に世界の歴史を知る
7	多様性の時代	100	人種、LGBTQとは
8	国ごとの英語 (アクセント) ①	100	リスニング教材で国ごとに違う英語を知る
9	国ごとの英語 (アクセント) ②	100	リスニング教材で国ごとに違う英語を知る
10	日本と世界の食文化・祭り	100	日本と世界の料理と祭り
11	世界の治安、貨幣価値	100	海外で暮らす心構え、お金の価値観
12	日本、沖縄について語る	100	留学先で英語で日本、沖縄について話せる
13	留学先の知識を深める	100	留学先の人口、人種、首都などを知る
14	ディベート (討論)	100	自分の考えを筋立てて主張できるようになる
15	課題ORレポート	100	

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物によって評価

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
「映画での異文化体験 異文化コミュニケーション講座」	桜木俊行	SCREEN新書
「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」	久米昭元、長谷川典子	有斐閣選書
「Intercultural Communication for English Language Learners in Japan」	Troy McNachy、古家聡、櫻井千佳子	NANUN-DO

5. その他・特記事項

--

科目名	Cross Culture II	教員名	河村 舞	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	観光業、海外留学、移住、勤務経験者		

1. 授業概要 (授業方法:講義・グループワーク)

<p>【授業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化について学び、様々な文化の価値観を知る ・自己の置かれた文化について考える ・異なる文化的背景を持つ人々と交流する際に、必要なことは何かを考える ・留学中起こりうる生活習慣の違いや、現地での多様性をイメージする <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な国の文化を比較、研究し、理解を深める ・世界の中での日本に関する知識を持ち、自己の文化について詳しく語ることができる ・意見交換とロールプレイを通じて学んだ事を、留学生活に置き換えて考えることができる

2. 授業計画 (2時限 100分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500分)

1	ステレオタイプと無意識の偏見	100	偏見が生まれる仕組みとその影響
2	沖縄文化をどう伝えるか	100	沖縄と日本文化を区別し英語で説明
3	異文化誤解のケース分析①	100	英語圏での摩擦や誤解の例
4	異文化誤解のケース分析②	100	実際の留學生体験談をもとに議論
5	非言語表現とコンテキスト	100	表情、ジェスチャー、沈黙の意味など
6	英語圏の価値感(自由・平等)	100	自由・平等について事例とともに比較
7	「常識」の違いとユーモア	100	異文化におけるジョーク、暗黙のルール
8	礼儀・マナーの違い	100	食事、時間、行動の文化差
9	英語で異文化対応①	100	丁寧な表現、依頼
10	英語で異文化対応②	100	断り、意見交換
11	世界の経済格差	100	世界と日本の経済の違いについて
12	異文化適応とストレス管理	100	カルチャーショックとの向き合い方
13	異文化トラブルと対処法	100	トラブルの例と解決方法
14	祝日から知る留学先の歴史	100	留学先の祝日をもとに歴史を理解する
15	課題ORレポート	100	

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物によって評価

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
「映画での異文化体験 異文化コミュニケーション講座」	桜木俊行	SCREEN新書
「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」	久米昭元、長谷川典子	有斐閣選書
「Intercultural Communication for English Language Learners in Japan」	Troy McNachy、古家聡、櫻井千佳子	NANUN-DO

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Practical English		教員名	Dana Hanna	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Bachelors of Arts from Indiana University. 12 years teaching experience in the USA and in Japan. 3 years advertising experience in Japan.			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

The aim of this class is to improve listening skills through news articles. In addition to improving listening skills, the class is also expected to increase students' knowledge of world affairs and develop a global perspective by covering news from a wide range of fields.

2. 授業計画 (1時限 50分 × 授業回数 15回 = 総授業時数 750分)

1	Listening1		リスニング演習 グループワーク
2	Listening2		リスニング演習 グループワーク
3	Listening3		リスニング演習 グループワーク
4	Listening4		リスニング演習 グループワーク
5	Listening5		リスニング演習 グループワーク
6	Listening6		リスニング演習 グループワーク
7	Listening7		リスニング演習 グループワーク
8	Listening8		リスニング演習 グループワーク
9	Listening9		リスニング演習 グループワーク
10	Listening10		リスニング演習 グループワーク
11	Listening11		リスニング演習 グループワーク
12	Listening12		リスニング演習 グループワーク
13	Listening13		リスニング演習 グループワーク
14	Listening14		リスニング演習 グループワーク
15	Listening15		リスニング演習 グループワーク

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
DIALOGUE 1800 英単語・熟語ダイアログ1800 CNN ニュース・リスニング 準1級、最短合格 リスニング問題 完全制覇		旺文社出版 朝日出版社 The Japan Times他

5. その他・特記事項

科目名	PC Excel 3級		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Excelの表計算（関数）・グラフ作成及び管理の実務経験があり、指導実績がある。			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft Excelを使用するための操作手順の習得を目的とし、主にExcelの基本操作、関数、グラフを学習していく。3級取得を目指す。ビジネス社会における通常の表計算処理を行うことができる。同時に、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する実践的な技能を有している。

2. 授業計画（1時限 50分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700分)）

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社
「Excel表計算処理技能認定試験3級問題集」、サーティファイ	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

--

科目名	PC Excel 2級	教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Excelの表計算（関数）・グラフ作成及び管理の実務経験があり、指導実績がある。		

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft Excelを使用するための操作手順の習得を目的とし、主にExcelの基本操作、関数、グラフ、フィルター等を学習していく。2級取得を目指す。ビジネス社会における通常の表計算処理を行うことができる。同時に、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する実践的な技能を有している。

2. 授業計画（1時限 50分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700分)）

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社
「Excel 表計算処理技能認定試験2級問題集」、サーティファイ	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

--

科目名	PC Power Point 初級	教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	スライドの作成及びプレゼンテーションの実務経験があり、指導実績がある。		

1. 授業概要 (授業方法: 実務)

Microsoft PowerPointに関する基礎的な技能を有し、ビジネスシーンを想定した仕様に従った標準的なプレゼンテーションを作成することができる。

2. 授業計画 (1時限 50分 × 授業回数 54回 = 総授業時数 45時間(2,700分))

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
「PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験問題集」、サーティファイ	サーティファイ コミュニケーション能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar I		教員名	伊禮 亮	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

<p>・授業の狙い 中学・高校の英文法を一から復習することにより、文法知識の習得が、リーディング、ライティング、英会話においていかに大切になってくるのかを理解することが狙いである。</p> <p>・到達目標 Be動詞、一般動詞、肯定文と否定文、疑問文、完了形、仮定法、助動詞、形容詞、副詞、動名詞、分子、句と節などの文法用語に精通するとともに、その使い方をしっかりと理解した上で、口頭でも、ライティングでも、英文法の知識を駆使し、英語で自己紹介したり、週末の出来事などを英語で語るができるレベルまで持つていく。</p> <p>・授業構成 このクラスでは、 1) 講師主導で、英文法の基本を、英語構文を交えながら解説していく。 2) ある程度英文法が理解できたところで、自己紹介文などの文章を英語で実際に書いたり、週末をどのように過ごしたのか、英語で表現する練習をする。 3) 英検準2級、2級レベルのトピックを与え、文章のどこで、どのように文法が使われているのか、確認してもらう。</p> <p>・対象学生・英語レベル設定 このクラスを受講する学生は、英文法の知識が未だ曖昧で、英検準2級レベルの文章を理解するのが難しかったり、簡単な英語の文章が書けない学生を対象とする。</p>

2. 授業計画 (1時限 50 分 × 授業回数 15 回 = 総授業時数 750 分)

1	Grammar	文の種類
2	Grammar	動詞と文型
3	Grammar	動詞と時制
4	Grammar	助動詞
5	Grammar	受動態
6	Grammar	不定詞
7	Grammar	動名詞
8	Grammar	分詞
9	Grammar	前置詞
10	Grammar	関係詞
11	Grammar	接続詞
12	Grammar	比較 仮定法
13	Grammar	否定語
14	Grammar	まとめ①
15	Grammar	まとめ②

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
テキスト不使用		

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar II		教員名	伊禮 亮	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

<p>・授業の狙い 留学生活の出だして躓かないよう、しっかりと準備した上で、留学生活にある程度自信をもってスムーズに入っていくことがこの授業の最大の狙いである。</p> <p>・到達目標 英語圏の日常生活において自分の言いたいことを相手(ホストファミリー、友人、知人)に分かりやすく伝える能力は必須である。また、授業の中でのグループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションでの質疑応答などで、自分の意見をしっかりと述べることも求められる。こうしたことに対応できるようにするため、文法書の中のあらゆる英語構文を声にだして読み込むことで、シンプルな表現で自分の伝えたいことを相手に伝えたり、相手に対して質問できるようにする。</p> <p>・授業構成 このクラスでは、キク英文法をクラス全員で徹底的に音読していく。その上で、 1)文法書に用いられているあらゆる例文を、講師のよびかけに応じて、現在形から過去形、肯定文から疑問文、否定文へ、肯定文から受け身へ、現在形を完了形へなど、これまで習った文法の知識を駆使して文法書に用いられている例文をパラフレーズする形で、英語表現のアウトプットを徹底する。これと併せて、英語日記パーフェクト表現辞典を用いて、様々な英語表現をインプットし、アウトプットする練習を繰り返す。 ・対象学生・英語レベル設定 資格試験でいえば、準2級～2級レベルの学生を対象とする。</p>

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15 回＝総授業時数 750 分)

1	Grammar1 演習	動詞
2	Grammar2 演習	時制
3	Grammar3 演習	助動詞
4	Grammar4 演習	名詞と冠詞
5	Grammar5 演習	形容詞
6	Grammar6 演習	代名詞
7	Grammar7 演習	副詞
8	Grammar8 演習	不定詞
9	Grammar9 演習	動名詞
10	Grammar10 演習	分詞
11	Grammar11 演習	受動態
12	Grammar12 演習	疑問詞 比較
13	Grammar13 演習	接続詞 仮定法
14	Grammar14 演習	関係詞
14	Grammar15 演習	まとめ

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
キク英文法 英語日記パーフェクト表現辞典		アルク Gakken

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar III		教員名	伊禮 亮	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

<p>・授業の狙い このクラスは、TOEICやTOEFLiBT資格試験取得を目的としている。TOEICの点数を上げるためには、Part5の問題を短時間で解き、正答率をいかに上げられるかが鍵になる。また、TOEFLiBTの点数を上げるためにも、アカデミックな文章を正しく読む訓練をする必要がある。こうしたことに対応するため、英文法の勉強を徹底するのが狙いである。</p> <p>・到達目標 TOEICでは550点、TOEFLiBTでは54以上を目標とする。</p> <p>・授業構成 1)いくつかのグループに分け、過去問や対策本の問題をグループ全員で解いてもらう。その後、グループの代表者に、なぜ他の選択肢は間違いで、残った答えが正答になるのか、口頭で説明してもらう。 2)リーディングの問題に関しては、英語の5文型を用いて、どの部分が重要な動詞で、どの部分が補語なのか、あるいは目的語なのかなどを学生に説明してもらった後に、英文を日本語に訳してもらう。 3)TOEICの文法問題に関しては、動詞、名詞、形容詞、副詞の違いをしっかりと認識した上で、なぜその箇所には副詞が入るのか、形容詞ではだめなのか、なぜ動詞、名詞や代名詞が入るのか、文法の理風を用いて説明してもらう形をとる。</p> <p>・対象学生・英語レベル設定 資格試験でいえば、TOEIC450点以上、英検2級レベルの学生を対象とする。</p>
--

2. 授業計画 (1時限 50分 × 授業回数 15回 = 総授業時数 750分)

1	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
2	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
3	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
4	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
5	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
6	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
7	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
8	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
9	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
10	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
11	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
12	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
13	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
14	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
15	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
スコアが上がる新TOEICテスト本番模試600問 ETS公認ガイドTOEFL iBT 他、		旺文社 Mc Graw Hill

5. その他・特記事項

--

科目名	企業実習（有給）		教員名	稲福 潤	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	企画、営業、販売員等の実務経験がある教員が行う授業			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

座学と密接に関連した企業と連携を持ち職業人育成のため訓練生と実践力を獲得する。沖縄では外国人と接する機会が多く英語力を習得したいというニーズが高いがいざとなると話せないという経験のある人はかなりの数にのぼる。「話せた、通じた」という達成感に変えそこから英語力を活かした就職を目指し、直接雇用も視野に入れ実務経験を養う。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 960回＝総授業時数 800時間(48,000 分)）

1	社会常識	21	
2	社会常識	22	
3	社会常識	23	
4	ビジネスマナー	24	
5	ビジネスマナー	25	
6	ビジネスマナー	26	
7	コミュニケーション	27	
8	コミュニケーション	28	
9	基本能力	29	
10	基本能力	30	
11	基本能力		
12	協調性		
13	傾聴能力		
14	責任感		
15			
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀（受入企業評価シート）

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

企業実習報告書(毎月シフト表)給与明細書など 企業評価シート(半期)年2回

科目名	就職実務	教員名	稲福 潤	配当年次	3
実務教員	○	実務教員の紹介	企画、営業、販売員等の実務経験がある教員が行う授業		

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

学生に内定を活取る為の小手先のテクニックを教えるのではなく、これからの人生・社会を生き抜くための基盤を確立するための術を考えて教える。学生にとって良い将来の選択につなげる。

2. 授業計画 (1時限 50分×授業回数 45回＝総授業時数 37.5時間(2,250分))

1	就職活動に心構え	21	
2	就職活動に心構え	22	
3	就職活動に心構え	23	
4	就職活動の流れ	24	
5	就職活動の流れ	25	
6	就職活動の流れ	26	
7	自分自身を知る	27	
8	自分自身を知る	28	
9	自分自身を知る	29	
10	職業を知る	30	
11	職業を知る		
12	情報収集の方法		
13	企業研究		
14	企業研究		
15	就職試験		
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀内定・採用通知者

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
勝つための就職ガイド (SUCCESS)、ワークシート		

5. その他・特記事項

--